

# 我が国の政府貸出が企業の借入コストに与えた影響

## -DSGE ベイズ推計による検証-\*

高野 哲彰<sup>†</sup>

平成 25 年 4 月

### 概要

本稿では、1990 年代における企業の資金繰り支援としての政府貸出が企業の借り入れコストをどの程度減少させたかを、金融市場の不完全性を考慮した DSGE モデルによって検証した。MCMC 法によるベイズ推計の結果、政府貸出残高が増加した 90 年代後半には政府貸出は企業の借り入れコストを金利スプレッドでみて年率 0.2% 低下させていたことがわかった。ただし、これまで指摘されてきたように、政府貸出は民間貸出をクラウドディングアウトしていた可能性があることがあらためてわかった。反実仮想シミュレーションによってクラウドディングアウトの程度を検証した結果、90 年代後半には平均で 25% 程民間貸出がクラウドディングアウトされていたと推計された。

JEL classification: C13, E44, E62

キーワード: 政府貸出, フィナンシャルアクセラレーター, DSGE ベイズ推計

---

\*本稿の作成にあたり、大垣昌夫教授（慶應義塾大学）、廣瀬康生准教授（慶應義塾大学）、白井義昌教授（慶應義塾大学）、江口允崇講師（駒澤大学）、平賀一希講師（東海大学）、寺本和弘氏（東京大学大学院）から大変有益なコメントを頂いた。ここに記して感謝したい。なお、本稿における誤りは全て筆者の責任である。

<sup>†</sup>日本経済研究センター [takano@jcer.or.jp](mailto:takano@jcer.or.jp)